

【地理院マップシート(E1-No.328)ご利用にあたって】

本ソフトウェアは、Microsoft(R) Excel のマクロを用いて開発されたもので、帳票形式のファイルと KML プロファイル等を入出力し、属性情報等を編集することができます。

また、本ソフトウェアで作成される KML ウェブ地図プロファイルについては、「地理院地図」を使って重ね合わせ表示することができます。

○ 動作環境

- ・本ソフトウェアに組み込まれているマクロは、Microsoft(R) Excel(97以降)で動作します。なお、パソコン環境によっては動作しない場合があります。

○ 注意事項

- ・本ソフトウェアのうち、開発したマクロ部分の著作権は国土地理院にありますが、利用者において機能の拡張を行なうことを可能とします。その際は下記、問い合わせ先にご連絡お願いいたします。
- ・本ソフトウェアのうち、住所の情報から座標値への変換には東京大学空間情報科学研究センター（東京大学 CSIS）の CSV アドレスマッチングサービス (<http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/index.php> ; 以下、CSIS サービス) を利用しています。東京大学 CSIS は、CSIS サービスを法律や条令に反する目的で利用することを禁じています。また東京大学 CSIS は、CSIS サービスの結果を利用することによってなんらかの損害が生じた場合でも、いかなる賠償責任も負いません。利用者責任でご利用ください。東京大学 CSIS は、メンテナンスなどのため、CSIS サービスを無断で停止する場合があります。その他、以下の URL に示される利用条件 http://newspat.csis.u-tokyo.ac.jp/geocode/modules/addmatch/index.php?content_id=4 を参照ください。
- ・本ソフトウェアのうち、座標値から住所への変換には独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の簡易逆ジオコーディングサービス (<http://www.finds.jp/wsdocs/rgeocode/index.html.ja> ; 以下、農研機構サービス) を利用しています。農研機構サービス提供者は、農研機構サービスを無保証で提供しており、農研機構サービスが原因で発生した損害等について、補償等は一切おこないません。また、農研機構サービス提供者は、農研機構サービスを原因とする不具合があった場合でも、成果物に関する直接的なサポートを行いません。農研機構サービスから得られる番地情報は、実態と異なる場合があります。またプライバシーにも関わることがありますので、特に慎重に扱って下さい。その他、以下の URL に示す利用条件 <http://www.finds.jp/wsdocs/tou.html.ja> <http://www.finds.jp/wsdocs/rgeocode/index.html.ja#APPTOU> を参照ください。
- ・CSIS サービスをご利用の際には住所の情報が、農研機構サービスをご利用の際には座標の情報が、インターネットを介して、各サービスを提供するサーバに送信されますのでご注意ください。
- ・本ソフトウェアは、KML ファイル等の形式によっては対応していない場合がありますのでご注意ください。
- ・本ソフトウェアは、利用者に予告なく改良等を行います。最新版につきましては、下記、問い合わせ先にお尋ねください。
- ・本ソフトウェアを使用し、作成したデータによって発生した利用者の直接又は間接の損失及び損害については、利用者がある一切の責任を負うものとし、国土地理院は他者に対していかなる責任も負わず、かつ、他者のそれらの損失及び損害に対して一切の賠償等を行わないものとします。
- ・本ソフトウェアは「国土地理院技術資料」です。利用には、申請書の提出が必要となる場合があります。詳しくは下記をご覧ください。

<http://www.gsi.go.jp/johosystem/johosystem40086.html>

国土地理院 地理院マップシート担当

※ここに記載されている事項は、利用者への予告なしに変更される場合があります。